

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表:令和6年2月19日

事業所名:放課後等デイサービス事業所 キッズステーション星ヶ峯

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		・グループ分けを行い部屋を分ける等をして、利用者同士が密にならないように工夫をしている。	・活動内容によっては、もう少し広さが欲しい場合もある。
	2 職員の配置数は適切であるか		○		・現在、法に定められた人員基準は満たしている。 ・活動では、利用者の特性を考えて職員を配置するよう工夫している。	・更に細やかな支援体制を目指し、余裕が欲しい状況の時もある。 ・利用者に配慮した適切な配置を考えるようにしたい。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・事業所建築時に十分に検討したが、実際に使用する中で不具合もあり、改修してきた。	・今後も、バリアフリーの視点を持ち、安全に施設の利用ができるよう設備の点検を続けたい。
業務改善	4 業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・職員会議、支援会議等で話し合いを行い、意見交換、共通理解を図っている。 ・活動内容の確認、反省は毎日行っている。	・今後も全職員共通して、PDCAサイクルの視点から、業務改善を意識できるように研鑽したい。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・保護者向け評価表は、平成29年度より実施し、改善に努めている。	・評価表だけでなく、いろいろな場面でアンケート調査も行い、ご家族の思いに寄り添えるように心がけたい。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・平成29年度よりホームページ上での公開及びご家族への資料配布を実施している。	・自己評価の結果だけでなく、ご家族からの要望等やその対応等も、公開できるようにしていきたい。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		・第三者による、外部評価が実施できていない。 ・実地指導で受けた指摘を職員間で共有して、業務改善に生かしている。	・法人全体の課題と捉え、情報発信の仕方等、実施に向けて検討したい。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・いつでも、研修を受けることができる環境や外部研修の機会を多く持つようにしている。	・研修に参加した職員が、研修内容の報告を行い、全体的な資質向上に努める、専門性を重視した内容との意見もあり、応えられるようにしたい。
適切な 支援の	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・定期的に個別面談、調査票等で意向を聞けるように努め、支援会議等で意見を出し合い作成している。	・仕事などの都合で、面談の実施が難しいご家族もあるため、意向を汲み取れるような工夫をしていきたい。 ・ご家族と子どもの意向を引き出せるような環境づくりに努める。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		・必要に応じて使用している。	・法人で新たに作成したアセスメントツールを使用する。 ・全職員がアセスメントツールについての知識を深め、使用結果を支援や目標設定に活かすことができるようにしていきたい。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・活動計画は交代で分担し、担当者が中心となるが、皆の意見を聞きまとめている。 ・活動の反省を職員全員で行い、支援の改善ができるようにしている。	・担当となる職員の負担にならないよう、材料、用具等の準備を協力し合って、皆で行ってきた。今後も協力して行って行きたい。 ・立案した活動に対し、個別対応や支援について臨機応変に対応できるように努める。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・活動名は同じでも、内容が変わるように工夫している。 ・利用者の意見を取り入れている。	・他法人事業所の活動プログラムも参考にしながら、改善すべき点があれば、迅速に対応できるようにしたい。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・その日の活動に沿った目標・課題を設定し、個に応じた支援に努めている。	・平日だからこそできる支援、また長期休暇等だからこそ取り組める活動等、今以上に職員が意識してサービス提供に努められるように研鑽したい。 ・地域との連携できる活動も設ける。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・集団活動がメインだが、利用者さんの特性や能力に合わせて、グループ分けをして計画している。ADLなどの支援は個別で行っている。	・集団活動・個別活動における、それぞれの利点を活かせる支援ができるように、職員全員で研鑽したい。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
提供	15 支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・朝会で活動内容や注意点、利用者の状況を確認している。共通理解にもれがないよう、引継ぎノート等も活用している。	・活動計画書は1週間前に作成提出するようにしている。・長期休暇中のサービス提供において、送迎時間の関係から、十分に時間を取れない状況の日もあった。職員間の理解・連携に漏れないように、更なる工夫が必要である。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・翌朝の朝会を主として活動の振り返りを行っている。勤務の関係で共通理解にもれがないよう、引継ぎノート等を活用している。	・平日のサービス提供においては、送迎後に振り返りを行う時間を、十分に取れない状況である。翌朝のミーティングで反省等を行っているが、職員間の理解・連携に漏れないように、更なる工夫が必要である。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・利用者さんの状況の他、目標に即した記録になるよう心掛けている。	・記録すべきことを簡潔に記すことができるように努めている。特に支援上の必要事項については、詳しく記すように心がけている。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・毎月の支援会議の中で、モニタリングをしている。各担当職員から利用者さんの直近の報告や、ご家族からの要望・意見を踏まえて、計画、見直しが必要か全員で判断している。	・ご家族を含めたモニタリングは毎年2回実施できている。本人のニーズを汲み取ることが難しい場合は、家族のニーズを参考にしている。できていること、良い行動など、更に伸ばす視点での意見も大事にして今後の支援に生かすようにしたい。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○			・日々の活動計画作成において活動目的、個に応じた支援など、全職員で検討している。	・ガイドラインの内容については全職員内容を確認し、日々の支援内容に沿ったものになるよう心がけている。今後ガイドラインの再読に定期で取り組み、内容の見直しを行うなどして、より充実した活動や支援の提供につなげていきたい。
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・児発管と担当職員を中心に利用者の様子を詳しく伝えられる職員が参加している。	・相談支援専門員との連携を強化し、必要に応じて自事業所での担当者会議開催も進めていきたい。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			・普段の様子等の情報共有は、学校迎え時の会話を主に、電話・メールにて情報を得て連絡・調整を行っている。行事関係は保護者と連絡を取り合っている。	・利用者の下校時刻の確認は、配布される週報を基にししながら、メール等で連携を取っている。週末に利用のない方は確認が難しい。学校の担任とはなかなか話す機会がなく、家族からの情報が主であるので、ご家庭との連携も密にし、もれのないように心がけたい。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	・現在対象がいない。	・今後の受け入れを考慮し、医療機関との連携について想定した体制を構築したい。必要に応じて、主治医からの専門的な指導、研修も受けられるようにしたい。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・法人内の事業所とは情報共有、連携は図れている。書面や電話などで行っている。	・担当者会議を開催することで、スムーズな移行に繋げていく。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			・高等部卒業利用者さんの移行事業所とは、密な連携がとれている。	・今後も、移行先の把握及び、連携において積極的に取り組みたい。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	・保護者の皆さんを通しての関わり、書類上のやり取りが多い。	・今後、積極的に研修参加を進め、助言等も頂けるように連携を図っていきたい。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	・同法人内の放課後デイサービス3事業所で合同レクリエーションを実施した。	・今後、交流場所や職員数等をどう調整するかを検討したい。児童クラブ担当者等と連携を図り、一緒に活動を計画する等、交流機会に繋げていきたい。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	・法人としては参加している。	・必要に応じて事業所独自での参加も検討し、連携を強化していきたい。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・連絡帳でのやり取りを主として、送迎時や面談・電話連絡・メール・ラインを活用し、共通理解を図っている。	・気になっていることや、不安な気持ちなど、ご家族の方が些細な事と感じられることがあっても、気兼ねなく相談できる雰囲気や環境を作り、連携を図っていきたい。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	・ご家族の思いに寄り添えるように、しっかり話を聞くことを心がけている。	・事業所内だけではなく、法人内の事業所合同でペアレント・トレーニングの研修等を実施できないか、検討していきたい。
30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約時に重要事項、契約、個人情報保護についての説明を行っている。	・現状、契約時の内容から変更点などはないが、年度更新の際など、機会を捉えて再説明を検討していきたい。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・相談があった際は、面談を行うなどして、できる限り思いに応えられるように対応している。	・気兼ねなく相談できる雰囲気や環境を作り、連携を図っていききたい。また、適切な助言と支援ができるように、職員の資質向上に努めたい。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	・家族会の開催ができていない現状である。保護者間の連携については、支援を行っていない。	・親子の集いや催しを企画し、顔を合わせられる場を提供していく。また、事業所主催の家族会もコロナでしばらく実施できていなかったが、状況を見ながら開催していききたい。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・迅速に対応できるように心掛けている。	・些細なことでも、気軽に話せる信頼関係の構築に努める。適切な助言ができるように職員の資質向上に努める。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・ホームページ上で日々の活動状況を公開し発信している。 ・予定表(活動計画)を発行し、予定の変更等あれば、その都度連絡を行っている。	・ご家族の満足度を確認し、活動予定や現状が分かるように発信していききたい。
	35 個人情報に十分注意しているか	○			・研修も行い、全職員、十分に注意を払っている。	・個人情報保護の研修を重ね、文書や口頭での漏洩だけでなく、メール、ネット等におけるセキュリティも念頭におき、更なる注意を払っていききたい。
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・怪我等があった時は、連絡帳に記載やメールを使用し、送迎時に状況を伝えている。 ・言葉だけでなく、絵カードの使用やジェスチャー等、伝え方を変えて工夫している。	・言葉だけでなく、しぐさ、表情、雰囲気、すべてがコミュニケーション手段だと捉え、気持ち寄り添った支援を心がけていききたい。また、伝える力、受け取る力を大切に、職員の資質向上を図りたい。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	・法人全体として取り組んだ。	・育成会フェスを開催し、地域との交流を行った。今後も、連携を図る機会を持てるようにしたい。
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・各マニュアルの策定により、職員はそれにそった行動及び体制となっている。	・現状、各マニュアルについて、ご家族の皆様への周知が不十分であると思える。契約時のみでなく、今後は家族会や面談の場で、周知に努めたい。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・年4回利用者様と一緒に、火災、地震、不審者対応、送迎車の避難訓練を行っている。	・今後も、避難訓練の想定を変え、緊急時に生かせるように努めたい。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・虐待防止マニュアルを基に、毎年必ず全職員研修を行い意識を高めている。	・今後も研修を重ね、全職員の意識向上及び虐待を見逃さない体制の継続に努めたい。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	・現在、対象者がいない。必要に応じて説明させていただき、身体拘束等の廃止マニュアルに沿って行う。	・今後、必要な状況があれば身体拘束等の廃止マニュアルに沿ったものにする。その際利用者さん・ご家族の方へ十分に説明し、同意のもととなるように配慮していききたい。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・ご家庭より食材についてアレルギー相談の際は食品の提供に配慮している。	・面談で確認を行い、体調の変化に伴って、連絡を受けた際は、指示に従って対応している。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・各職員、ヒヤリハットを事故防止につなげる意識を持ち、積極的に事例をあげて検討し、共通理解に努めている。	・自事業所の事例だけでなく、第三者委員会の中での資料、他事業所での事例も検討し、再発防止に努めていききたい。また、職員がヒヤリハットを見逃すことのないように、研鑽していききたい。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)